

第35回

日本疼痛漢方研究会 学術集会

テーマ

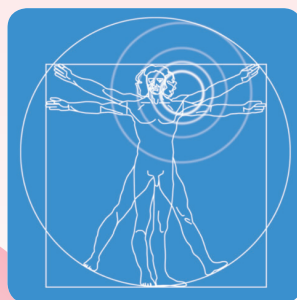
疼痛患者のQOL改善と漢方

現地＋Web開催のハイブリッド形式で開催いたします。

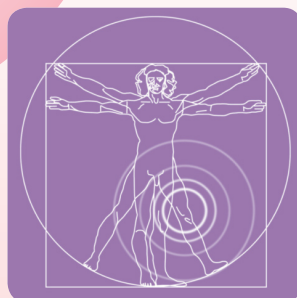
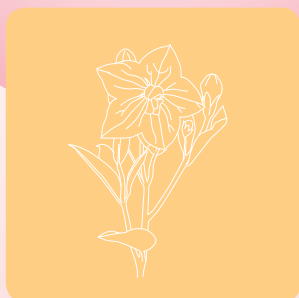
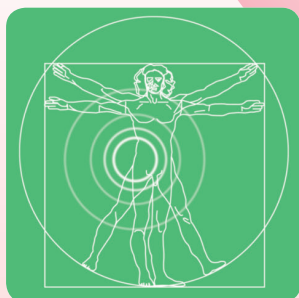
オンデマンド配信を予定しております

(一般講演・会長特別セッション・優秀賞ノミネート講演)

配信期間：2023年8月1日(火)～8月31日(木) 予定



プログラム



日 時

2023年7月22日(土) 東京コンファレンスセンター・品川

9:00～17:55

会 場

東京都港区港南1-9-36 アレア品川

会 長

濱口 眞輔

獨協医科大学医学部
麻酔科学講座

共催：日本疼痛漢方研究会 / 株式会社ツムラ

日本疼痛漢方研究会ホームページ：

<https://www.toutsu-kampo.com/>

ご案内

参加者の皆様へ

1. 参加について

- 1) 第35回日本疼痛漢方研究会学術集会は、現地およびWeb開催を併用したハイブリッド開催となります。

開催日程は、以下の通りとなります。

現地およびWeb開催：2023年7月22日（土）9：00～17：55

会場：東京コンファレンスセンター・品川

オンデマンド配信：8月1日（火）10：00～8月31日（木）15：00

（一般講演・会長特別セッション・優秀賞ノミネート講演のみ）

2. 参加申込について

- 1) 参加形態を問わず事前参加登録が必要です。

【参加登録期間：5月22日（月）10：00～8月31日（木）13：00】

当日の参加登録やオンデマンド期間中の参加登録も可能です。

※オンデマンド配信は8月31日（木）15：00までとなりますのでご注意ください。

- 2) 参加登録

日本疼痛漢方研究会ホームページよりご登録ください。

ホームページ：<https://www.toutsu-kampo.com/>



ご登録の際、「現地参加」または「Web参加」をご選択いただけます。

- 3) 参加証

現地参加者には、現地会場に参加証を発行させていただきます。

参加証はホルダーに入れ、会場内では必ず着用してください。

- 4) 参加費・年会費

（会員）参加費・年会費として計5,000円（参加費2,000円／年会費3,000円）

（非会員）当日参加費として7,000円

（顧問・監事・名誉会員）無料

（学部生）無料

- 5) 支払い方法

決済方法はクレジットカード決済のみとなります。

決済可能カード：VISA/Master Card/American Express/Diners Club/JCB

参加登録後の取り消しは、お受けいたしかねます。お支払いいただいた参加登録費は理由の如何に関わらず返金いたしませんので、二重登録にご注意ください。

領収書は、マイページよりご自身でダウンロードいただけます。

期間内に、ホームページ内の参加登録ページより必要事項をご入力いただき、事前カード決済をお済ませください。

6) 当日の参加方法

(現地会場) 東京コンファレンスセンター・品川 5 階にて、8:00 より受付を開始いたします。
当日、受付での参加登録も可能ですが、混雑を防止するため、Web での事前参加登録にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

(Web 参加) 参加費のお支払い後、ご登録メールアドレス宛にマイページのログインに必要な ID・パスワードをお送りいたします。
当日、マイページより学術集会をご視聴いただけます。

3. 参加・視聴に関する注意事項

第 35 回日本疼痛漢方研究会学術集会における講演（以下「本講演」）の参加・視聴にあたり、以下の注意をご確認いただきますようお願い申し上げます。

- 1) 本講演の内容を無断で複写・複製・編集・録画・録音・転用（本講演のスクリーンショット・写真撮影・ダウンロード・他のサイトへのアップロードを含む）など著作権、肖像権の侵害、および不当な権利侵害を行わないこと
- 2) ログイン ID やパスワードを他者に知らせたり、共有することのないよう管理すること
Web 視聴の際の推奨視聴環境は以下の通りです。
Windows 10 以降 /Google Chrome 最新版
※ JavaScript が有効な状態でご利用ください。
※上記以外の組み合わせや Mac の場合、画面が正しく表示されない、もしくは正しく機能しないことがあります。
その場合、上記推奨の環境で再度操作願います。

4. 会場からのお願い

2023 年 5 月 8 日から新型コロナウイルス感染症法上の位置付けが「5 類感染症」に変更されました。当施設では 5 月 8 日以降の感染症対策について、以下のように、感染対策を実施いたします。ご協力をお願いいたします。

●以下、来場時・会期中ご協力をお願いいたします。

- 1) 検温機は、施設をご利用される皆様各自のご判断で使用ください。発熱のある方や体調のすぐれない方のご入場はご遠慮願います。
- 2) 施設入口での靴裏、キャスターつき靴の除菌対応のため、マットの上の通過をお願いいたします。
- 3) マスクの着用が効果的である場面については、館内でのマスク着用を推奨いたします。咳エチケット・飛沫防止対策・密防止等をお願いいたします。
- 4) 手洗い、手指消毒についてご協力をお願いいたします。
- 5) ご利用中に体調を崩された場合は、第 35 回日本疼痛漢方研究会学術集会 運営事務局までお申し出ください。

座長の先生へ

ご担当のセッション開始予定時刻の 5 分前までに次座長席にご着席ください。

Web でご登壇いただく先生は、事前に映像・音声・動作の確認をさせていただきます。

ハイブリッド開催のため、画面共有など発表準備に時間がかかることが予想されます。演題多数のため、時間調整にご配慮いただきながら、活発な討議の誘導をお願いいたします。

演者の先生へ

ご講演はすべて口演形式です。演題多数のため、講演時間の厳守をお願いいたします。

《講演時間》

- | | |
|-------------------|-----------------------------|
| 1) 特 別 講 演：50 分 | 4) 会長特別セッション：講演 12 分・質疑 3 分 |
| 2) 教 育 講 演：40 分 | 5) 優秀賞ノミネート講演：講演 9 分・質疑 3 分 |
| 3) ランチョンセミナー：40 分 | 6) 一 般 講 演：講演 7 分・質疑 3 分 |

《講演方法・講演データ》

講演方法について

- ・ご講演はパワーポイントによるデジタルプレゼンテーション(パソコン発表)にてお願いいたします。

＜会場での講演＞

講演データ受付（またはパソコン持ち込み）

- ・各講演セッション開始の 30 分前までに『PC 受付（5 階第 1 会場前ホワイエ）』にて受付および動作確認を行ってください。

講演データについて

- ・本文の文字サイズは、28pt 以上を推奨いたします。
- ・スライドの比率は、16：9 を推奨いたします。
- ・お持ち込みいただく講演データは、『USB フラッシュメモリーまたは CD-R のメディアお持ち込み』もしくは『ご自身のパソコンお持ち込み』のいずれかでお願いいたします。
- ・メディア持ち込みのときは、PowerPoint 2016・2019 で作成されたデータのみといたします。

※他のパワーポイントのバージョンでご講演されるときは、パソコンのお持ち込みにご協力ください。

- ・ご講演内容に動画・音声を使用されるとき、もしくは Macintosh を使用されるときは、必ずご自身のパソコンをお持ち込みください。

《諸注意》

- ・パソコンを持ち込まれるときは、AC アダプターを各自持参してください。
- ・ファイル名は「演題番号演者名.pptx」としてください。
- ・接続は HDMI または D-sub15 ピン 3 列のコネクター（通常の外部モニター出力端子）となります。
- ・パソコンの外部モニター出力端子の形状を必ず事前にご確認いただき、必要なときは接続端子を持参してください。

＜ Web での講演＞

スライドのご提出について

- ・不具合などの配信トラブルを避けるため、事前収録配信を推奨させていただきます。
- ・質疑応答は、事前収録配信の場合も可能な限りライブでのご対応をいただけますようお願いいたします。

座長・演者のオンライン参加方法

- ・任意の場所より、ご自身のパソコンでご参加ください。
- ※安定配信のため、できるだけインターネットにつながる通信環境のよい静かな場所をお選びいただき、可能な限り有線 LAN に接続してください。
- ・Zoom を使用いたします。座長・演者用の Zoom URL は、事前にメールにてお送りいたします。視聴用の Zoom URL とは異なりますので、ご注意ください。
 - ・当日は該当セッション開始 30 分前までにログインをお願いいたします。映像・音声・動作の確認を実施します。
 - ・ご自身のパソコンにカメラ、スピーカー、マイクが付属されているかご確認ください。可能な限り、マイク付きイヤホンやヘッドセットマイクなどをご使用ください。

＜視聴者からの質問機能＞

ライブ配信中は、視聴者が視聴画面上で座長へ質問を送信できます。座長は、質疑応答の際にご活用ください。

※質問は、座長のみが確認できます。演者・視聴者は質問内容を確認することはできません。

《利益相反の開示》

当日の発表スライドにて、ご講演演題に関連する利益相反の開示をお願いいたします。

開示内容、開示スライド雛形は、研究会ホームページに掲載しています。

<https://www.toutsu-kampo.com/>

《個人情報の保護》

学術集会におけるご講演においては、患者の個人情報保護にご配慮ください。

（「学術集会発表時の個人情報保護に関する指針」を研究会ホームページに掲載しています。）

https://www.toutsu-kampo.com/wp_kanri/wp-content/uploads/2023/04/kojin.pdf

第35回学術集会スケジュール

第 1 会場「大ホール」		第 2 会場「501」	
9:00	開会の挨拶・オープニングリマーク	9:00	(第 1 会場 中継)
9:10	一般講演 1 《頭痛》	9:10	一般講演 3 《歯科領域の痛み①》
10:00	一般講演 2 《体幹部の痛み》	9:50	一般講演 4 《歯科領域の痛み②》
10:40	休 憩 (10 分)	10:40	(第 1 会場 中継)
10:50	優秀賞ノミネート講演		
11:50	休 憩 (15 分)		
12:05	ランチョンセミナー		
12:45	休 憩 (10 分)		
12:55	総 会		
13:10	休 憩 (10 分)		
13:20	特別講演		
14:10	休 憩 (10 分)		
14:20	会長特別セッション		
15:20	休 憩 (10 分)		
15:30	教育講演		
16:10	休 憩 (10 分)	16:20	一般講演 7 《運動器の痛み》
16:20	一般講演 5 《婦人科領域の痛み》	17:10	(第 1 会場 中継)
17:00	一般講演 6 《带状疱疹による痛み》		
17:40	優秀賞表彰式		
17:50	閉会の挨拶		
17:55			

「第35回日本疼痛漢方研究会学術集会 プログラム」

開会の挨拶・オープニングリマーク

(9:00～9:10)

会 長：濱口 眞輔（獨協医科大学医学部 麻酔科学講座）

■第1会場 一般講演1《頭痛》

(9:10～10:00)

座 長：境 徹也（佐世保共済病院 ペインクリニック麻酔科）

園田 拓郎（鹿児島市医師会病院 ペインクリニック内科）

1-1) 大建中湯は CGRP 製剤の頭痛予防効果に拮抗しない

埼玉医科大学 脳神経内科

○光藤 尚、田村 直俊、溝井 令一、伊藤 康男、中里 良彦、山元 敏正

1-2) 交通事故後の頸椎捻挫に漢方薬が奏効した治療経験

獨協医科大学医学部麻酔科学講座

○寺島 哲二、濱口 眞輔

1-3) 漢方併用により症状改善を認めた脳脊髄液減少症 / 外傷性頸部症候群の1症例

JA 愛知厚生連江南厚生病院 麻酔科

黒川 修二

1-4) 脳脊髄液漏出症関連症状に人參養榮湯が奏功した1例

札幌孝仁会記念病院 脳神経外科¹⁾、釧路孝仁会記念病院 脳神経外科²⁾

○村上 友宏¹⁾、入江 伸介¹⁾、齋藤 孝次²⁾

1-5) 脳動脈瘤術後に発症した難治性頭痛に漢方薬及びYNSA治療を試み奏功した1例

富士クリニック

藤田周一郎

■第1会場 一般講演2《体幹部の痛み》

(10:00～10:40)

座 長：大畑 光彦（岩手医科大学医学部 麻酔学講座）

1-6) 胸背部の冷えと痛みに対する漢方薬の使用経験

帝京大学医学部附属病院 麻酔科・ペインクリニック科

○杉本真理子、齋藤 彩香、柿沼 玲史、關山 裕詩

1-7) 原因不明の右下半身痛に対する茯苓四逆湯の使用経験

姫路赤十字病院 産婦人科¹⁾、姫路赤十字病院 緩和ケア内科²⁾

○関 典子¹⁾、福永 智栄²⁾、谷岡 桃子¹⁾、谷村 史香¹⁾、楠元 理恵¹⁾、平田 智子¹⁾、
西條 昌之¹⁾、河合 清日¹⁾、中山 朋子¹⁾、小高 晃嗣¹⁾、水谷 靖司¹⁾

1-8) 神経ブロックが無効で漢方薬が有用であった会陰部痛症例

青森慈恵会病院 漢方内科・麻酔科¹⁾、弘前大学医学部附属病院²⁾

○坪 敏仁¹⁾、工藤 隆司²⁾

1-9) 麻杏薏甘湯を筋肉痛に使用してみて

まっこいしゃ高橋醫院

相澤 治孝

休 憩

(10:40～10:50)

■第2会場 一般講演3《歯科領域の痛み①》

(9:10～9:50)

座 長：今泉 うの（神奈川歯科大学 麻酔科学講座 歯科麻酔学分野）

2-1) 心因性舌痛症に対して漢方薬が有効であった1症例

長島町国民健康保険平尾歯科診療所¹⁾、医療法人ハヤの会 田中矯正歯科 歯科慢性疾患診療室²⁾、
昭和大学医学部生理学講座生体制御学部門³⁾、鹿児島大学病院 口腔顔面外科学分野⁴⁾、
鹿児島大学病院 歯科麻酔科⁵⁾

○新田 英明¹⁾²⁾、山口孝二郎²⁾³⁾、鈴木 甫⁴⁾、山下 薫⁵⁾、杉村 光隆⁵⁾

2-2) 1年以上続く舌・口腔内疼痛に漢方を含む東洋医学的治療が奏効した1例

医療法人ハヤの会 田中矯正歯科 歯科慢性疾患診療室¹⁾、
昭和大学医学部生理学講座 生体制御学部門²⁾、長島町国民健康保険平尾歯科診療所³⁾、
鹿児島大学病院口腔顎顔面外科学分野⁴⁾、鹿児島大学病院歯科麻酔科⁵⁾

○山口孝二郎¹⁾²⁾、新田 英明¹⁾³⁾、鈴木 甫⁴⁾、山下 薫⁵⁾、杉村 光隆⁵⁾

2-3) 舌痛症に漢方が有効であった一例

東京医科歯科大学 歯科麻酔・口腔顔面痛制御学分野¹⁾、
東京医科歯科大学病院 歯科ペインクリニック²⁾、東京医科歯科大学病院 顎関節外来³⁾

○楠 英将¹⁾、山崎 陽子¹⁾、嶋田 昌彦²⁾、川嶋 正人²⁾、木村 浩子³⁾、坂元 麻弥²⁾、
井村 紘子²⁾、栗栖 諒子²⁾、前田 茂¹⁾

2-4) 左側に限局した Burning Mouth Syndrome(BMS) に漢方薬が奏功した1症例

りゅう歯科クリニック¹⁾、藤田医科大学ばんだね病院脳神経外科²⁾

○安陪 春菜¹⁾、小松 文成²⁾

■第2会場 一般講演4《歯科領域の痛み②》

(9:50～10:40)

座 長：瀬尾 憲司（新潟大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面再建学講座 歯科麻酔学分野）

2-5) 長期間続いた顎関節周囲の疼痛に対する漢方薬投与が効果的であった1症例

九州歯科大学 老年障害者歯科学分野¹⁾、ナタリーデンタルクリニック²⁾

柿木 保明¹⁾²⁾

2-6) 難治性歯周炎に対して排膿散及湯が奏効した症例

北海道大学病院 口腔内科

○板垣 竜樹、坂田健一郎、北川 善政

2-7) 顎骨疾患に伴う痛みの治療に用いられる漢方薬の文献的症例集積解析

群馬大学大学院医学系研究科口腔顎顔面外科学講座・形成外科学講座¹⁾、

公立館林厚生病院歯科口腔外科²⁾

○五味 暁憲¹⁾²⁾、横尾 聡¹⁾

2-8) 非定型歯痛に対する漢方治療の検討

北海道大学大学院歯学研究科高齢者歯科学教室

○新井 絵理、横山 亜矢子、平良 賢周、山崎 裕

2-9) 口腔内の痛みに漢方薬が奏効した1症例

神奈川歯科大学 麻酔科学講座 歯科麻酔学分野

○今泉 うの、別部 智司

休 憩

(10:40～10:50)

■第1会場 優秀賞ノミネート講演

(10:50～11:50)

座 長：青山 幸生（東邦大学医療センター大橋病院 麻酔科）
三浦 一恵（鶴見大学歯学部 歯科麻酔学講座）

N-1) 性成熟期女性の心身症状に対し漢方治療が奏効した6症例の検討

総合病院土浦協同病院 産婦人科¹⁾、かしの葉レディースクリニック²⁾、
つくばセントラル病院 産婦人科³⁾、東邦大学 薬学部⁴⁾

○松岡 竜也¹⁾、岡村 麻子²⁾³⁾⁴⁾、鏑田 芙実子¹⁾、東出 凌¹⁾、野間 友梨子¹⁾、中溝 早希¹⁾、
竹谷 陽子¹⁾、西田 慈子¹⁾、北野 理絵¹⁾、塚田 貴史¹⁾、市川 麻以子¹⁾、遠藤 誠一¹⁾、
坂本 雅恵¹⁾、島袋 剛二¹⁾

N-2) 整形外科外来における柴胡桂枝乾姜湯の有効症例の臨床的特徴

みやにし整形外科リウマチ科¹⁾、平田ペインクリニック²⁾、織部内科クリニック³⁾

○宮西 圭太¹⁾、平田 道彦²⁾、織部 和宏³⁾

N-3) 口腔粘膜疾患に伴う痛みの治療に用いられる漢方薬の文献的症例集積解析

群馬大学大学院医学系研究科口腔顎顔面外科学講座・形成外科学講座¹⁾、
公立館林厚生病院歯科口腔外科²⁾

○五味 暁憲¹⁾²⁾、横尾 聡¹⁾

**N-4) オーラルペイン・リエゾン外来を受診した舌痛症患者の臨床統計
ー舌痛症の病態と漢方治療の有効性についての考察ー**

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 歯科麻酔学分野¹⁾、みどり小児歯科²⁾

○岡安 一郎¹⁾、達 聖月¹⁾、鮎瀬 卓郎¹⁾、和気 裕之²⁾

N-5) 舌痛症に対する漢方薬の使用経験

小松市民病院 歯科口腔外科
松本 成雄

休 憩

(11:50～12:05)

■第1会場 ランチョンセミナー

(12:05～12:45)

座 長：中谷 俊彦（三朝温泉病院 麻酔科）

『術後慢性痛の基礎と臨床』

京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室 天谷 文昌

休 憩

(12:45～12:55)

総 会

(12:55～13:10)

休 憩

(13:10～13:20)

■第1会場 特別講演

(13:20～14:10)

座 長：濱口 眞輔（獨協医科大学医学部 麻酔科学講座）

『不通則痛（つうぜざれば、すなわちいたむ）について』

日本東洋医学会名誉会員

医療法人社団伝統医学研究会 あきば伝統医学クリニック 秋葉 哲生

休 憩

(14:10～14:20)

■第1会場 会長特別セッション

(14:20～15:20)

座 長：平田 道彦（平田ペインクリニック）

山口孝二郎（昭和大学医学部 生理学講座生体制御学部門）

SH-1) 術前に補剤投与し致死性化膿性脊椎炎からサバイバルした一例

独立行政法人労働者健康安全機構 九州労災病院 勤労者骨・関節疾患治療研究センター 整形外科

今村 寿宏

SH-2) 再発性口唇ヘルペスに対する漢方薬の効果

岐阜県総合医療センター 産婦人科¹⁾、岐阜県総合医療センター 東洋医学科²⁾

佐藤 泰昌

SH-3) 独特な痛みを訴える慢性治療抵抗性疼痛に対して漢方薬が奏功した症例

高知医療センター ペインクリニック科

○穴山 玲子、野中 裕子、山本 賢太郎

SH-4) 半夏瀉心湯の抗炎症作用の解明から未病を考察する

大阪歯科大学歯科医学教育開発室¹⁾、松本歯科大学薬理学講座²⁾

○王 宝禮¹⁾、大草 亘考¹⁾、益野 一哉¹⁾、瀧沢 努²⁾、今村 泰弘²⁾

休 憩

(15:20～15:30)

■第1会場 教育講演

(15:30～16:10)

座 長：間宮 敬子（信州大学医学部附属病院 信州がんセンター 緩和部門）

『研究会のあゆみ』

日本疼痛漢方研究会 代表世話人

益田地域医療センター医師会病院

島根大学医学部 緩和ケア学 齊藤 洋司

休 憩

(16:10～16:20)

■第1会場 一般講演5《婦人科領域の痛み》

(16:20～17:00)

座 長：中西 美保（滋賀医科大学 麻酔学講座）

1-10) 更年期障害に伴う関節痛に対して漢方治療を行った3症例

札幌白石産科婦人科病院

武田 智幸

1-11) 全身痛を主訴とする女性更年期症候群に対して婦人科との併診（ホルモン療法）にて生薬／百合始めとする漢方製剤を中心とした処方と認知行動療法（マインドフルネス）の有効症例

寺田鳳実会 寺田クリニック

寺田 壮治

1-12) 子宮頸癌による会陰・肛門部痛の痛みの管理に漢方薬が有効であった1症例

京都府立医科大学附属病院 疼痛緩和医療部

上野 博司

1-13) 婦人科手術後の慢性下腹部疼痛と精神症状に対して気剤を加味した漢方治療

清水医院

清水 正彦

■第1会場 一般講演6《带状疱疹による痛み》
座 長：關山 裕詩（帝京大学医学部 麻醉科学講座）

（17：00～17：40）

1-14) 難治性の神経障害性疼痛に対する漢方薬治療の試み

上村クリニック ペインクリニック・漢方内科
上村 聡子

1-15) 漢方薬が奏効した神経障害性疼痛薬が服用困難な带状疱疹痛症例

北九州市立門司病院 ペインクリニック・東洋医学科
緒方 政則

1-16) 带状疱疹痛に対する漢方薬の効果

国際医療福祉大学成田病院 ペインクリニック科
稲垣 喜三

1-17) 带状疱疹後神経痛に対する漢方処方の治療経験

園ペインクリニック¹⁾、順天堂東京江東高齢者医療センター²⁾、みつはたペインクリニック³⁾
○松本 園子¹⁾、飯田 史絵²⁾、光畑 裕正³⁾、山口 敬介²⁾

■第2会場 一般講演7《運動器の痛み》

（16：20～17：10）

座 長：宮西 圭太（みやにし整形外科リウマチ科）

2-10) 身体症状症の諸症状に対する漢方治療の経験

祐愛会織田病院 麻酔科
中平 圭

2-11) 四逆散証を呈した弾発指の1症例

赤羽牧洋記念クリニック 整形外科
東儀 洋

2-12) パーキンソン病患者の腰痛に対して漢方薬が奏効した2症例

済生会横浜市南部病院 神経内科¹⁾、小菅医院・横浜朱雀漢方医学センター²⁾
○中江 啓晴¹⁾、草鹿砥宗隆²⁾、小菅 孝明²⁾

2-13) 整形外科における非特異的腰痛症の漢方薬を組み入れたオーダーメイド治療

～臨床成績と工夫している点～

前田病院 整形外科・麻酔科
○前田 浩行、前田 睦浩、前田 隆浩

2-14) 術後に遺残した腰下肢痛に対する牛車腎気丸の使用経験 第二報

那須赤十字病院リハビリテーション科
○吉田 祐文

優秀賞表彰式

（17：40～17：50）

閉会の挨拶

（17：50～17：55）

会 長：濱口 眞輔（獨協医科大学医学部 麻醉科学講座）

MEMO

MEMO

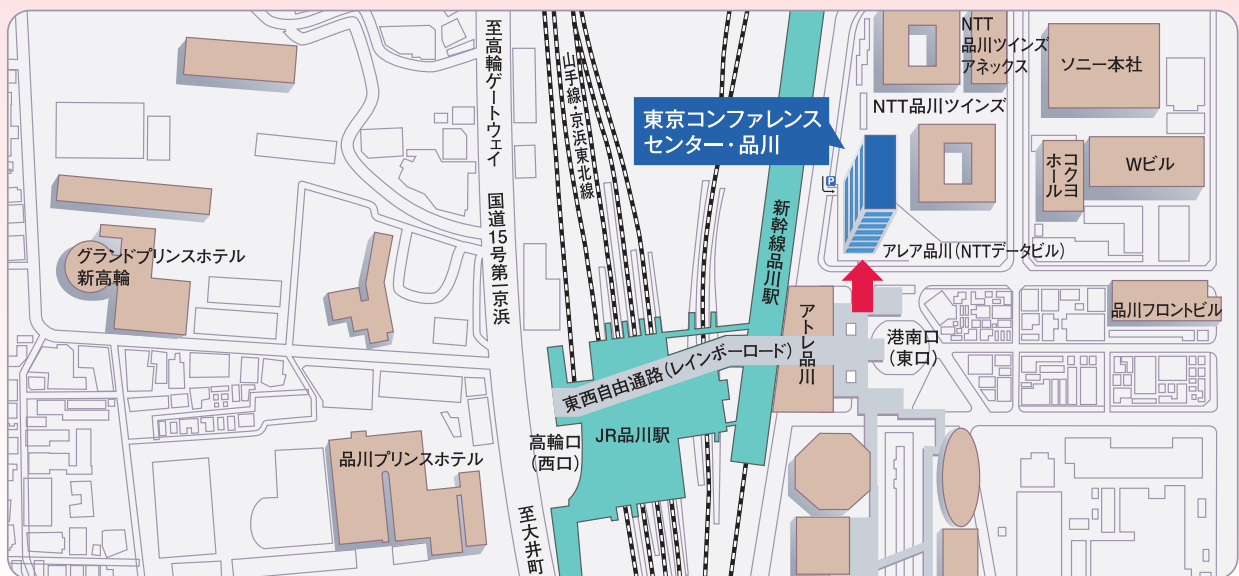
MEMO

会場案内

東京コンファレンスセンター・品川

東京都港区港南 1-9-36 アレア品川

TEL 03-6717-7000



アクセス

- 新幹線・JR 品川駅港南口（東口）より徒歩約 2 分
- 羽田空港から
羽田空港→品川（京浜急行利用）約 24 分
- 東京駅から
東京→品川（JR利用）約 12 分

連絡先：

第35回日本疼痛漢方研究会学術集会 共催事務局

〒107-8521 東京都港区赤坂2丁目17番11号

赤坂シグマタワービル 4 階 株式会社ツムラ 学術企画部内

TEL 080-6747-9162

Mail toutsu@mail.tsumura.co.jp